



楽しく子育て!

～子育て支援コーナー通信～

第121号

発行日

2017年9月19日

毎月19日は、「かが育児の日」



「子育て支援コーナー」第41回企画展示

「**知って安心、備えて安心！子どもの安全を守る本**」が
はじまりました。

★期間:平成29年9月5日(火)～平成29年11月15日(水)

新しい本が
入りました。

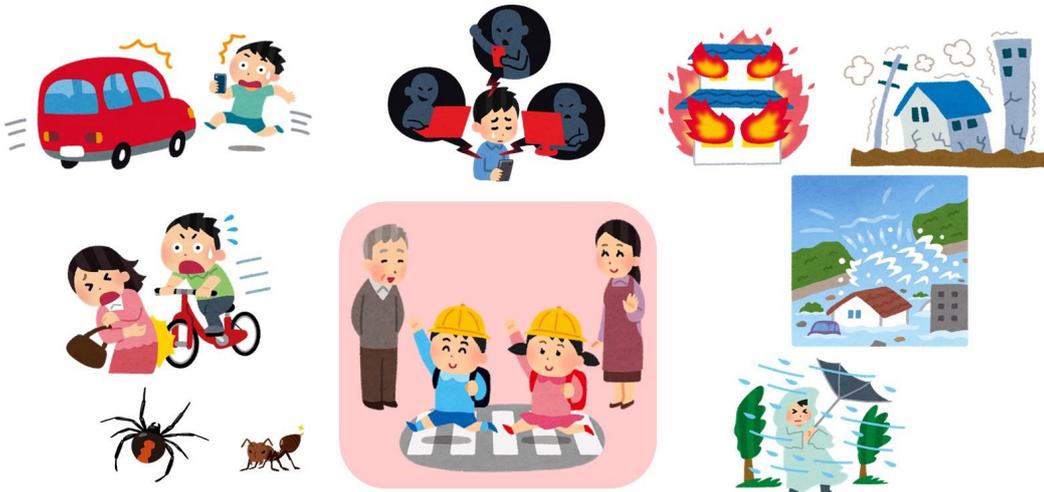
()内の数字は
棚の番号です

『0・1・2歳児のココロを読みとく保育のまなざし』
井桁 容子/[著]
チャイルド本社/刊
2017. 6
(支援 1-5)

『はじめてのママカメラ
365日の撮り方辞典』
今井しのぶ/[著]
マイルスタッフ/刊
2017. 7
(支援 2-1)

『みるみる絆が深まる
親子手帳 心がつながる!
子どもの学力が向上する!』
石田 勝紀/著
学研プラス/刊
2017. 7
(支援 3-1)

『楽しく覚えるおうち
ルール工作BOOK
「お約束ポップ」でひとりでき
る子に!』
北田 哲也/イラスト
メイソ出版/刊
2017. 7
(支援 4-4)



最近、子どもが被害者となる悲惨な事件や事故が増えています。また、突然襲ってくる自然災害で子どもが犠牲になる心配もあります。

9月は防災月間です。これを機会に暮らしの中の危険から、子どもを守る方法を親子で学んでみませんか。

子育て支援コーナーでは、子どもの安全を守るために役立つ事故防止、防犯、防災、インターネットやスマートフォンの安全利用教育の図書など、約200冊を展示・貸出しします。

どうぞ、ご利用ください。

展示図書リストは当館ホームページから確認できます。

(http://www.library.pref.kagawa.lg.jp/kgwlib_doc/kosodate/kutenji.html)

こんな時には、こんな本！

(第6回 おじいちゃん・おばあちゃんの孫育て)

9月の敬老の日、おじいちゃん、おばあちゃんを交えて親子三代で食事会などのイベントをされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

小さな子どものいる家庭の心強い味方、それは、子どもにとっての祖父母だなあ。と思います。それもお母さんの側の祖父母なら、お母さんにとって遠慮が無いので、なおベスト。働きながらの育児、家事の悩みも半減！そう思ってしまうのは、私の母が遠方に住んでいて、そういった経験がないからでしょうか？

私の姉は、ずっと母と同居しており、すべての家事を母に任せて働いています。子どもが小さいときは、育児もかなり任せていました。私から見れば、そんな楽園のような環境でも母と姉は、育児や家事のやり方をめぐって、今でも対立することが多いとのこと。

血のつながった親子でも別々の人間、いろいろ食い違うこともあるのですが、せっかく協力して暮らして行ける環境にあるのだから、歩み寄る努力をして、家族三代でもっともっと楽しく暮らしてほしいと願っています。

今回は、孫育ての本を紹介します！

『孫育て一年生 新米祖父母の教科書』

棒田 明子／監修 KADOKAWA 2016. 12

本書には、はじめて孫育てをする方が、育児についての不安を解消できるように「今どきの育児」の方法が子どもの年齢ごとに書かれています。

著者によると、祖父母だからこそ、お孫さんに伝えられることの究極は、「老いていく姿を孫に見せてあげること。」そうすることで、お孫さんは、「命について学び、やさしさやいたわりの心が育って行っていきます。」とのこと。孫育てをする上での心得も学べる内容になっています。



『育ジジがやってくる はたらくママたちへ』

菅谷 洋司／著 東方出版 2016. 9

本書には、著者が共働きの息子夫婦の「お助けマン」として、七年間、二人の孫娘が病気のときなどに世話をし、その経験から学んだことが書かれています。

著者が孫を世話する際の熱心な仕事ぶりや、その時々感情が手に取るように判るので、子どもを預けるご両親はもちろん、現役の「育ジジ」やこれから孫育てをしようとしている方にもオススメです。

こんなに一生懸命頑張って孫育てしてくれているなら、育児についての少しの意見の食い違いなんて、「もういいよね。」と、思ってしまうかもしれない一冊です。

夏休みが終わり、私にとって、ひたすら待ち遠しかった9月になりました。子どもの学童用のお弁当作りや大量の宿題から解放され、通常の生活に戻ることができて、ほっとしています。何かと体力的にも厳しかった夏休みですが、なぜか痩せませんでした。息子はといえば、暑さに弱く、部屋の中でゴロゴロしていた結果、1ヶ月で2キロ増！！秋は親子でダイエットに励もうと思っています。